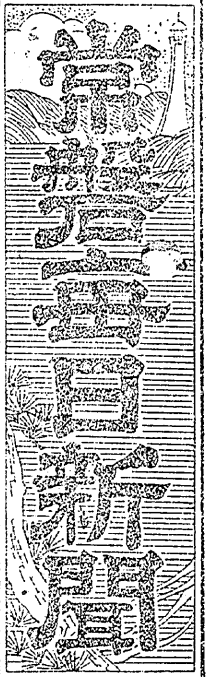


刊夕 日三月九



定額一圓五角
 廣告料五號十二行
 日曜祭日休刊
 發行所 常磐日日新聞社
 印刷所 常磐日日新聞社

山高帽の靴磨き

ロンドンで見た異風景

(八月六日午前八時)
 (ロンドン客舎にて)

松野尾 繁雄

世界の都ロンドンの一夜はあけた。幼い頃から、繪に、話にきいたチームスの流れ、ウエストミンスターアベイは、今眼の前にあるのだ。感懐なきを得ないではないか、
 一人のエトランゼとして古い都を見る。伯林とは全くその相貌のすべてを異にしてゐる。伯林は近代に於て、都市計画的に造られた街だ。ロンドンには古く自ら出来上つた街だ。伯林が極めてシムメトリカルに家も道路もバライテイにとんでゐる。而も『さび』を持つてゐる。
 彼等の精神生活の相違は今行きづりの異邦人に判る筈もない。之は、ゲーテとシルレルとそれから、此地の地シエークスピア等々を比較する方が判りよからう。眼に寫つた相違點を書き上げるなら、伯林は到處でビールをのんでゐる。ロンドンにはそれが無い。昨日晝食をとつた家は、二三百人も居る食堂だが、日本なら丸ビルの中央亭程度のところ、満員の客で誰一人

うだ。
 こんな相違を書上げたなら無敵にあるだらう、然し最も大切な兩者の本質的差別は容易に判らない、旅を終えて、ゆつくりと考へなければならぬ。

ビールをのんでゐない。ロンドンでは街頭の靴磨きが高高をかぶり、銀行の小使さんが、金ばたんシルクハットで使ひに出る。正金銀行小使さんの収入は一週三ポンド、日本の圓では五十二圓にあたるが、之で生活は樂でないらしい。友人の二食付下宿はやはり一週三ポンドださうだ。
 話が横にそれたが、道路を歩くにも伯林人は實に忙がしうにしてゐるが、ロ

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇明日の献立〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁 馬鈴薯
 【晝】すいとん(うどん紛 若芽)

【晚】煮物 こんぶ巻 酢
 の物 胡瓜もみ もみ

ロンドンではゆつたりとしてゐる、伯林で右側通行がこゝは日本と同じだ。伯林では勘定にちやんと一割のサービス料が書いてあるが、こゝでは書いてない、それでタクシーの運転手に迄チップを拂ふことの習慣ださ

三井タクシ
 番五八六電・二平

計時
 高橋時計店
 平町二丁目
 小役員募集委細面談。

外科一般
 内科外科
 北川 外科
 平町新川町二七(諸橋醫院跡)
 醫學博士 北川 芳夫
 小 林 良次
 電話四六四番

貴方の御家庭に
 本會を御利用下さい
 直に家政婦派出します
 親切 料金は極めて低廉で
 妊産婦の御家庭 お留守居番
 御病人の付添 年寄やお子さんの付添
 炊事や雑用
 派出多忙に付會員至急募集
 平町紺屋町二(電話二二三番)
 上原家政婦會
 會主 産婆 上原通子

玉屋洋品店
 平町田町通電話二五二番

御知れりせ
 防虫劑
 玉ナフタリン
 片手一杯ツカミ取進上
 開店三十週年記念謝恩デー大好評を博しましたにつき引續き毎月十五日を謝恩デーと定め御買上金五拾錢以上の御客様に玉ナフタリンを差上ります
 アセモタリンに妙薬トフメルを無料でつけて上ります
 平町古鍛冶町縣社の下
 衛生相談所 阿康藥局
 電話 四四番
 振替口座 東京三〇六

品自慢と
 正直な値段
 自轉車・リヤカー
 フタバ商會
 新川町郵便局前

喜多流謠曲と仕舞の
 お稽古をお奨め致します
 平町田町六九
 喜多流 謠曲 仕舞 白土會
 入會隨時 電話二二七番
 平町南町五二一
 根本婦産科醫院
 (手術室完備) (入院隨時)
 根本 莊次郎
 根本 貞雄
 電話三四番

明日から一週間

空襲防備猛訓練

豫行教育のプラン成る

平町聯合防護團では来る十一、二兩日行はれる防空演習に關し、數度に亘る研究審議を遂げ準備を着々進めて來たが細部に亘る一切の準備全く成つたので明日四日から十日迄一週間に亘つて防空演習全般の豫行教育指導を行ふことに決定、左記の如き日程計畫の下に防護團員に對し猛訓練が執行される

一校)工作班の動作(同)警報班の動作(全町)△七日各防護團各班の綜合訓練(各計畫配備位置)△八日聯合防護團綜合訓練(全町)△九日施設補備△十日豫行演習(全町)

將軍徳川秀忠公の命に依り伏見城で忠死した忠正公の父君鳥居彦右衛門元忠公の菩提を葬ふため建立された由緒深い寺で現に「清流院殿淵室長源大居士」の戒名で元忠公が祀られてあり維新前までお墨付さ百石を拜領した由

好況の工業界に

警中の志望集中

警中五年生の志望調査

警中は此程早くも來春三月學窓を巣立つ五年生二百十三名に就いて夫々卒業後の志望を調査したが相變らず高等學校進學希望が最も多く其他海外の飛躍を志す者或は飛行家志望等もあり現下の軍需インフレに鑑みて

お断り 連載中の『大島の健兒行』記事編輯に付本日休載

か工業の専門校に廿二名の多數志望がある

高等學業三一 工業専門學校二三 師範一部一八 農一六 工業一四 大學

職員と生徒の慰靈

平町の三小學校が合同

平町第一、第二、第三の各小學校は來る秋の彼岸入の二十日頃合同して物故職員及び生徒の慰靈祭を催す事に亘り目下準備を進めてゐるが職員だけでも六十餘名に達してゐる由

自治講習開催 縣當局並に各町村長會主催の自治講習會は來る二十九日から一週間福島市縣教育會館で開かれるので郡下各町村からも夫々出席する筈

四倉繭市況 四倉市場の昨日取引は出廻り九百九十貫で最高四圓五十二錢、最低四圓十五錢、平均四圓二十二錢、掛目三五で前日より一錢の低下である

シネマ週報 世界館 三日、四日短期興行「オールトキー」敵機襲來「防空日本」同「半島の舞姫」オールサウ「浪人囃し」料金十錢

大浦村農友會 大浦村では村内の警城中堅農民講習終了生が中心となり青年農友會を結成明後五日午前八時から村役場で發會式を舉行するが會員は六十名

警女成績品展 警女の今夏休み中の宿題成績品展覽會は今三日から三日間開催される

澤渡局 田入局 錦局 赤井局

平町第一、第二、第三の各小學校は來る秋の彼岸入の二十日頃合同して物故職員及び生徒の慰靈祭を催す事に亘り目下準備を進めてゐるが職員だけでも六十餘名に達してゐる由

自治講習開催 縣當局並に各町村長會主催の自治講習會は來る二十九日から一週間福島市縣教育會館で開かれるので郡下各町村からも夫々出席する筈

四倉繭市況 四倉市場の昨日取引は出廻り九百九十貫で最高四圓五十二錢、最低四圓十五錢、平均四圓二十二錢、掛目三五で前日より一錢の低下である

シネマ週報 世界館 三日、四日短期興行「オールトキー」敵機襲來「防空日本」同「半島の舞姫」オールサウ「浪人囃し」料金十錢

大浦村農友會 大浦村では村内の警城中堅農民講習終了生が中心となり青年農友會を結成明後五日午前八時から村役場で發會式を舉行するが會員は六十名

警女成績品展 警女の今夏休み中の宿題成績品展覽會は今三日から三日間開催される

澤渡局 田入局 錦局 赤井局

平町第一、第二、第三の各小學校は來る秋の彼岸入の二十日頃合同して物故職員及び生徒の慰靈祭を催す事に亘り目下準備を進めてゐるが職員だけでも六十餘名に達してゐる由

自治講習開催 縣當局並に各町村長會主催の自治講習會は來る二十九日から一週間福島市縣教育會館で開かれるので郡下各町村からも夫々出席する筈

四倉繭市況 四倉市場の昨日取引は出廻り九百九十貫で最高四圓五十二錢、最低四圓十五錢、平均四圓二十二錢、掛目三五で前日より一錢の低下である

シネマ週報 世界館 三日、四日短期興行「オールトキー」敵機襲來「防空日本」同「半島の舞姫」オールサウ「浪人囃し」料金十錢

主演「丹下左膳大會」村田宏 上村節子主演「剛ちやんの人生日記」料金十錢

平職界紹介所報告

人を求める方

△出前持 十八才迄 拾五圓

△小店員 十九才迄 拾十圓 尋卒以上

△雜役 二十才迄 拾十圓

△トラック助手 二十才前後 給面談

△女中 二十才迄 給六圓

△女中 十五才位 給面談

△寫眞術見習 二十才迄 給仕着小使 高女卒程度

職を求める方

△見習看護婦 二十二才

△見習保母 實科女卒 二十二才

△給仕 十八才 高卒

△漁夫 二十七才 尋卒

△同 二十五才 尋一修

△店員 十八才 高卒

平町人事

回死 亡

△堂の前一青山貞藏氏(二六)

全國を托鉢して

長源寺の開山堂

平城初代の城主を祀る

平町胡摩澤長源寺栗山住職は此程三千圓の豫算で同寺の開山主國岸大佐和尚と平城初代の城主鳥居忠正公の靈を祀る開山堂建設の計劃を樹て本山の許可を受けると共に主務省に届け出た

が寄附は一切求めず住職が十年間全國を托鉢した一錢二錢の零細な金を積んで建設しやうと其意氣盛んなものがある

同寺は慶長八年十二月前記國岸大佐和尚が二代

地方事情に即して

明るくやりたいと

赴任に先立ち清田檢察官 出發は五日朝八時

既報盛岡地方裁判所檢察事に榮轉された平區檢察官清田一郎氏は愈々明後五日平發午八時二十分發出赴任される事になつたが

平には長い事お世話になりました、盛岡は初めての土地ですが地方事情に對して總てを明るくやつて行きたいと思ひます、

放合 大幸 比佐棟雄

私は平町出生ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります

前野上東京東 角通横局便郵谷下 番七七六園谷下話電

家出の誘拐か?

姉妹二名姿を消す

毛糸を買ひに出たまま

謎の疾走事件

平町八幡小路八〇軍手製造業坂本兼次郎氏長女馨女二年生愛子さん(一)假名は一日午後二時頃毛糸を買ひに行くと現金一圓五十銭を所持して出かけたまま、帰宅せぬので二女の第二校六年生美代子さん(二)假名が迎へに出掛け之を帰宅せし翌二日に至るも歸らぬので四

倉町の親戚に宿りに行つたのではないかと迎へに行つた處其處にも立廻らず知人方へも寄つた形跡がないので青くなつた父親から平署に昨日捜索方届け出あつたが平署でも家出か誘拐か謎の疾走事件として目下各方面を捜査中

一家を想ふ

乙女心から

矢竹に走る家出

田村郡の親戚に潜伏

姉妹相次ぐ不審の疾走事件に關しては平署で捜索の手を伸すと同時に實家は血眼になつて八方を探し廻つた處本日正午頃田村郡谷田川村の親戚に當る石井某方に兩名共潜伏中と判り早速家人が引取りに赴いた、尙家出の原因に就いては種々の揣摩憶説が變つて居るが父君坂本氏は永らく機關庫に勤務した實直な人で退職後軍手製造業を営んで居たが大本教に凝り出して以來家業に精出す暇

をそがれて業績が香しくないの孝心深い姉妹が相談して豫ねく自分等出来る仕事に就いて家

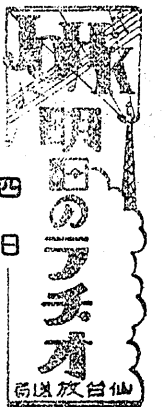
八幡様の笹藪から

幼女の悲鳴

怪漢巧みに逸走

幸ひ未遂に終る

昨日午後一時頃の眞晝間平町縣社八幡神社境内裏手の笹藪で女兒の痛々しい悲鳴が聞えるので附近の者三名が驚いて馳付けると年頃二十才前後の白ワイシ



今晩は北東の風
曇驟雨模様
明日は北東の風
り一時晴

今晩の部

- 後六、〇〇 偉人物語「伊藤博文」東京放送童話研究会
- 後六、二五 講演「水利の統制に就て」野間海造
- 後七、三〇 講演「オリズム」ビック東京開催と我が國
- 民の覺悟」平生文相
- 後八、〇〇 長唄「外記猿」富士田新藏他
- 後八、三〇 琵琶「江戸の曉」鐘鶴田旭窓
- 後八、五〇 歌謠物語「迷ひ」高杉早苗 光川珠江
- 後九、三〇 時報「ニューリス」明日の話題 氣象通報

ヤツに黒ズボンの男が同町八幡小路七三鐵道員大平友吉氏の長女サキ子さん(六)何れも假名に無態な仕草に及んでゐたが怪漢は人々を見て一目散に逃げ失せた、急報に接し平署では直ちに捜査したが子供の事とて人相其他手懸りが分らないので捜査に困難を來してゐる、尙早速醫師の診断を乞ふたが幸ひに暴行の痕跡毛頭なく未遂と判明した

窃盜犯の家宅搜索

押入から爆薬押収

目下背後關係追求中

去月二十五日玉川村精米業小名山春吉方から白米二俵を窃取して平署に檢舉され、以來、内郷方面の窃盜餘罪多數を既報の如く自白した内郷村字白水神奈川炭礦坑夫佐川直治(三)に就いて今度は先月初旬同礦からダイナマイト二十本を窃取、自宅押入に隠匿してゐたこと判明、昨日午後家宛捜査の末押収引上げたが尙目的並に背後關係を追求中

醉漢同志

混線喧嘩

頭部に裂傷

内郷村大字宮字宮澤一五號

番組豫告

- 明日の部
- 前六、三〇 英語會話講座
- レツドマン、堀英四郎
- 前七、〇〇 朝の修養「萬葉集に現はれたる日本精神」久松潜一
- 前八、三〇 美容講座「洗頭と肌の整へ方」早見君子
- 後八、〇〇 五律詠と尺八
- 佐藤錦月 島山浩藏
- 後八、三〇 國民歌謡 井上ケイ子
- 後二、〇〇 家庭講座 秋
- の支度「家具調度」土佐林てる
- 後六、〇〇 お話「象狩り」中田清一
- 後六、二五 講演「東北地方の鐵道交通」平山仙鐵局長
- 後七、三〇 趣味講話「町學者の話」笹川臨風
- 後八、〇〇 俳詠 太田トリヲ他 旭川松竹座中繼
- 後八、二五 室内樂 杉山長谷雄 ジェームスダン
- 後八、四〇 小唄菊地まさ
- 後八、五〇 ラヂオコメディー ムーランルージュ連

他店の名を騙り

アイスクリームを飲み逃げ

平町二丁目魚清食堂方へ一日夜商家の番頭風の若者十名が入り込み同町鍛冶町吉田屋呉服店員だと稱しアイスクリーム等一圓五十銭の勘定を借りて歸つたが二日になつて魚清方で吉田屋方に問合せた處「そんなことにはない」と断られたので初めて詐欺にかつたこと判明、届けでたので犯人捜査中

危険物横領

炭礦の火薬係

内郷村大字白水元坑夫武藤登(三)は去る八月同村神奈川炭礦に雇はれ中火薬係を奇貨としてカーリット四本半、雷管四本、導火線十三米を横領したこと發覺平署で檢舉取調中

裁判一束

△大野村大字玉山山字林崎七一農新妻藤太郎(三)は去る七月十四日同村仁井田川堤

店主が店員	を連れて行	か	正	正	正	平・田町
を	シ	シ	シ	シ	シ	レストサロン
を	イ	イ	イ	イ	イ	電三五二番
を	酒	食	食	食	食	
を	場	堂	堂	堂	堂	

△豊間村大字沼之内字新街六〇漁業式田伊佐吉(五)は去月九十の二日間に亘り新舞子沖合で殻長二寸五分以下の北寄貝六百二個を採捕漁業取締規則違反として罰金二十圓今三日平區で夫々略式命令を以て處分された



悟道軒圓玉(作) 丸尾至陽(書)

二二三 次郎長受合ふ
女は次郎長の氣色ばむを
見て

女「なんですわね分、そんな怖い顔をして、わたしは女ですよ、女がそんなに怖いの」

次「いふな、俺は駿府にお在になる官軍の伏谷如水様から頼まれて浪人の面をかぶつて宿や在方をあらしまはる悪黨を縛り上げ、多くの人の難儀を助けるが今の勤め官軍に敵對して射ち殺された朝敵の死骸の始末をしてくれと頼むわれば官軍に手むかひした脱走どもに縁のあるものだらう、さういふ奴の頼みは肯くことは出来ねえ、さアさ歸れ、われが男なれば縛つて駿府に送るが女のことだ助けてやる」

と云つた時に女は次郎長の顔をデッと見て
女「名物にうまいものなし名所と名の高い人は遠くはなれて聞く方が宜いと聞いたが、東海道で一といはれた親分がこんな判らぬ唐變木とおもはなかつた」
次「なんだと、この次郎長は判らぬ奴だと」
女「判らない人ですよ、」

ア親分よくお聞き、生きてゐるうちならば朝敵とも云はれるであらうが死んでしまへば佛様、佛になつても朝敵と思つてゐるの、水にたゞよひ土地の漁師の



とはお主に何れ程の魂があるかそれをためす爲の方便だ
女「おやそう、さうと知らず失禮なことを云ひましたわたしは女ですが男となつて土井伊織と名乗り、この五月上野で戦ひをして上野がおちて後援本様の部下になり、今度成願丸に乗つて松前へ行く途中鹿島沖で颪風にあひ、清水港へ吹きながされたが運よくあぶない命が助かり、官軍の目をしのぶために女となつて親分のところへ来たんですよ」

稼業をさまたげ、はては魚の餌食になるを可哀想とは思はないの、お前さんは多くの子分に親と尊まれ、關東八州に俠客伊達衆とうたはれる立派な男だが、さりとは道理の判らぬ人だね」
次「ウーウ、よく云つた、一体お主は何者だ、徳川様の御家來にゆかりのある人であらう、今俺のいつたこ

よ、どうぞ死骸を引き上げ葬つてやつてくださいな」
と云はれて次郎長が
次「ウーム、それではお主は女であつて戦をしたかえさても宜い魂を有つてゐるな、さだめし徳川様に縁のある人の娘であらう」
女「わたしの親父は公儀のお臺所をつとめた御家人なんですよ」

次「さうか、よし死骸のことは俺が引き上げた、してお主の名は」
女「お花と申します」
次「体に繪をかくやうでは堅氣ではねえな」
花「淺草の奥山に水茶屋を出し櫻屋のお花と云つて世辭を賣物にしたこともありませう」
それを聞くと次郎長はハタと小膝を拍ち
次「四五年前江戸へ行つた時國へ土産と役者の錦繪を買つた時ついでに買つた一枚繪に奥山の水茶屋櫻屋のお花といふものがあつたがそのお花はお主か」
花「おはづかしいがわたしなんですよ」
次「それは不思議だ、ヤイ虎や、江戸から買つて来た錦繪を持つて来い」
と子分にいひつけた、やがてそれへ文庫を持つて来た

虎「親分錦繪が入用でございますかえ」
次「この中に江戸の盛場での高い水茶屋の女の繪がある」
と云ひつゝ取り出した一枚の錦繪、さくらやと記した摺行燈の下に首抜き華美な浴衣を着て、つぶしの島田鬘にとり上げた仇めいた女が團扇を持つて立つてゐる圖、この女の腕には朱

吉田眼科醫院

平町紺屋町

夜 療

胃腸性病性

内科 胃腸病科 皮膚科 性病科 花柳病科

門 專

院醫性病胃腸村松

(番〇七一町南町平)

和洋 椅 家 具 具 子 儿

其他裝飾品一般... 御用命は迅速に御努め致します

製作販賣 諸官衙 御用達 各學校

平町五丁目四

片寄製作店

片寄小彌太 電話四八四番

醸造石數四千石

昭和二年以來連續優等入賞

銘 酒

永山酒店

平町田町 電話二〇七番

元造醸 郡山村西縣形山 郎三矩規樂設御